

## 附 属 機 関 議 事 録

名 称	令和3年度第1回世田谷区自転車等駐車対策協議会	
担当部課	土木部交通安全自転車課	
開催日	令和3年7月（書面開催）	
開催場所	－	
出席者	委員	小嶋委員（会長）、三羽委員（副会長）、川村委員、峯苔委員、中嶋委員、俣田委員、渡邊委員、開発委員、鈴木委員、多賀委員、武田委員、寺内委員、稲垣委員、長岡委員、三那川委員、大野委員、鈴木委員、篠田委員、山野委員、石津委員
	事務局	青木土木部長、北川交通安全自転車課長、平倉交通安全自転車担当係長、大沼交通安全自転車担当係長、村上交通安全自転車担当係長、浅井交通安全自転車担当係長、淵浪交通安全自転車担当主任、宮下交通安全自転車課担当主事
欠席者	－	
会議公開の可否	非公開	
非公開の理由	世田谷区情報公開条例第7条6項による	
傍聴人	なし	
会議次第	<p>1. 報告事項</p> <p>（1）世田谷区自転車活用推進計画及び自転車等の利用に関する総合計画（令和3年度から12年度）の策定について （資料1、計画の冊子（本編、概要版））</p> <p>（2）民間シェアサイクルによる実証実験の取り組み状況について （資料2、別紙1、別紙2）</p> <p>（3）大規模商業施設等の附置義務自転車等駐車場の調査について （資料3）</p>	
会議結果（要旨）	<p>◇委員 ◆事務局</p> <p>◎報告事項</p> <p>（1）世田谷区自転車活用推進計画及び自転車等の利用に関する総合計画（令和3年度から12年度）の策定について （資料1、計画の冊子（本編、概要版））</p> <p>◇4章施策の取組みの冒頭に、「自転車安全利用五則」を記していただいたのはとても良い。取組みの支援に小学校などで親子への啓発活動を示していただけると良いと思う。小さい頃からのしっかりした教育が大切である。</p>	

◇計画の基本理念に「思いやり」と「ゆずりあい」を加えていただきたい。

## (2) 民間シェアサイクルによる実証実験の取り組み状況について (資料2、別紙1、別紙2)

◇利用数の向上は良いことだと思う。今後の更なる発展に資するデータの集積と分析の強化を希望する。ステーションの増設やメンテナンス性の向上など、官民共同で進められるような環境が理想である。

◇現在の総台数はどのくらいか。十分な台数なのか。それとも今後増やしていくのか。最適な台数は何台と考えているのか。

◇資料1・2によると、平日より休日が多いとなっているが、下のグラフとの関係はどうなっているか。

◇利用者数とは、どのような定義でカウントされているのか。グラフを「in」「out」「own」で示していただきたい。平日よりも休日の方が、1日あたりの利用回数が多いことに言及するのであれば、1日あたりの利用回数のグラフを示していただきたい。また、平日休日別の時間帯利用回数についての考察も必要。

利用時間、利用距離は、行政界をまたがった移動の場合も、同様に算出しているのか。グラフで「-10キロメートル」に、大きなピークがあるが、これは単に5から10キロメートルの5キロメートル分を足し合わせたからであるのか、もしくは5から10キロメートルの中で何らかの特徴があるのか（例えば、ある距離でもまとまった利用層がいるなど）、状況を示していただきたい。

自転車の貸出返却マップに区内の空間的な利用特性が示されているが、これよりどのような状況が示されているか。

利用数上位の「すき家二子玉川駅前店」や「ファミリーマート三軒茶屋駅前店」では、ラック数に対する利用回数がかかなり多いが、利用集中によりラックに入りきれない自転車の放置など、シェアサイクル特有の問題は発生しているのか。

外出頻度が増えた人はどのような人なのか。

自己所有自転車の利用頻度が、増えた人、減った人、変わらない人には、それぞれのどのような特性（シェアサイクルの利用特性、個人属性など）があるのか。全体的にクロス集計などにより、利用者特性に関する詳細な解釈が必要と考える。

(3) 大規模商業施設等の附置義務自転車等駐車場の調査について  
(資料3)

◇調査をする際には、駅前の銀行を含めて考えてほしい。

◇放置する人に、その理由をヒアリングしてほしい。

◇課題ならびに実態調査は非常に重要な観点と考える。駐輪場の実態調査、需要調査などを行うことで、具体的にどのような条例改正を行うことを想定しているのか、お示しいただきたい。